



設楽ダムだより

第148号

レポート

2023.1



ダムサイト付近から田口方面を望む(令和5年1月)

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

また、旧年中は、設楽ダム建設事業に格別のご理解とご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、8月に設楽ダム建設事業の基本計画を変更し、工期に関して8年の延伸、事業費に関して約800億円の増額との見直しをさせていただきました。

工事では、皆様のご理解とご協力のもと、付替道路工事及び本体関連工事などを進めており、引き続き早期の整備を目指して努力して参ります。

また、水源地域振興につきましては、愛知県、設楽町、下流自治体と連携し、設楽ダムを活用した賑わいや親しみのある水源地域の創出を目指した取り組みを進めて参ります。

皆様のご期待と信頼にお応えできるよう、職員一同、事業者として誠心誠意取り組んで参りますので、何卒一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国土交通省中部地方整備局
設楽ダム工事事務所長

真鍋 将一



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

さて、令和5年の干支は「癸卯(みずのとう)」であります。「これまでの努力が花開き、実り始める」という意味があるそうです。設楽町におきましては、少しずつ「実り始める」、そして、皆様と一緒に将来に向けた「種まき」をしていく、そんな一年としたいと思っています。

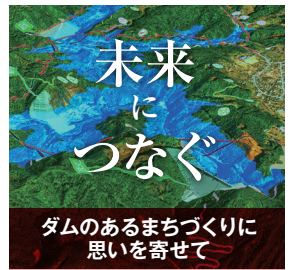
昨年は、町にとって設楽ダム建設事業の工期延長という大きな出来事がありました。町では、これをチャンスと捉えダム湖周辺、道の駅したら周辺整備などを国、県、関係する皆様と共に町振興事業に繋げる取り組みを引き続き行ってまいります。

結びに皆様にとって輝き続けられる一年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

設楽町長

土屋 浩





田口まち歩き& 設楽ダム工事現場見学ツアーを開催

―豊川下流域 土地改良区の方々に参加

令和4年12月5日、豊川下流域の土地改良区から24名が設楽町を訪問しました。設楽ダム完成後にその水を使われる方々に、設楽ダム建設工事現場の見学に加えて、設楽町を知ってほしい、感じてほしいとの思いから、今回は田口まち歩きと工事現場見学をセットにしたツアーを企画しました。
広報展示室や見晴展望台を見学して設楽ダムが下流域に与える恩恵を実感し、田口の町とふれあうことで、上下流交流がより深まる機会となりました。

広報展示室の見学 設楽ダムについて学ぶ

道の駅したらでの午前のツアーを終えた一行は、設楽ダム工事事務所が設置したダム広報展示室を訪れました。
 この展示室の呼び物は、プロジェクトマップピングで映し出す立体模型。ダム建設

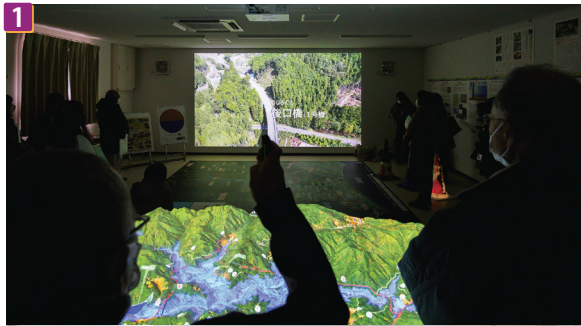
予定地の将来の姿、周辺に整備される道路の完成イメージ、ダム湖に水が貯まったときの状況など、様々なマップピング映像を投影することによって、設楽ダムを多角的に具体的にイメージすることができます。
 この模型を用いて設楽ダム工事事務所副所長の川村が設楽ダムの概要や工事状況、整備効果、東三河全体に与える効果について

て解説しました。ダム完成後の姿や現在の状況をより具体的にイメージできるように、ドローンで撮影した映像を壁面に映し出し、模型と照らし合わせて説明を行いました。
 また、床面の豊川流域の衛星写真を見ながら、流域全体に与える設楽ダムの整備効果、豊川用水との関連などについても解説。豊川の課題である利水の観点からも設楽ダムの意義を説明しました。

見学後、「プロジェクトマップピングを投影した立体模型を用いての説明はわかりやすかった」「豊川水系の水利における設楽ダムの意義が理解できた」「豊川の上下

流のつながりや関連性がわかった」などの声が聞かれました。
見晴展望台で ダム本体建設現場を見学

一行はその後、武田信玄ゆかりの福田寺に徒歩で移動。上洛すべく進軍していた信玄が、病のため甲斐に引き返す途中、この寺で亡くなったという伝承があり、信玄の墓と伝わる「信玄塚」を見学しました。
 同行した前設楽町長の横山光明さんからも説明があり、設楽町に息づく戦国の歴史に感心しきりの様子でした。



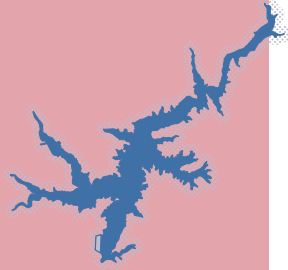
1/3000模型+プロジェクトマップピング+空撮映像でダム工事の進捗や豊川流域の衛星写真で豊川用水等をわかりやすく解説



パイロンを用いた工事現場とアートとのコラボについても紹介がありました



説明する副所長の川村





横山光明さんの説明に熱心に耳を傾けます



信玄の墓と伝わる「信玄塚」



戦国の歴史に思いをはせる



さらに歩いて訪れたのは見晴展望台。ダム本体の建設予定地を一望できる場所に見学者を案内するために整備したものです。解説パネルを見ながら工事現場をパノラマで眺望することができ、「広報展示室でのレクチャーで学んだことが視覚で具体的に立ち上がり、将来完成するダムのビジュアルがイメージできるようになった」との声も聞かれました。

また、川村の説明を聞きながら、設楽ダム完成後の姿をVR（バーチャリアリティ）で確認。目の前に広がる風景にスマートフォンをかざして、ダム整備後の状況を体感しました。「ダムのスケール感を実感できました」など、想像以上に壮大で圧倒的なスケールに

田口のまちを歩いて 上下流交流

感激の様子でした。

見晴展望台での見学を終えた二行は、田口へ。創業150年の老舗の関谷醸造、設楽町で営業しているスーパーマルツを訪ねました。入手しづらい人気のお酒や、スーパーが独自に開発しヒットした商品などを買い求める方も多く、観光としても楽しんでいただけるツアーとなりました。

設楽町での地域振興の取り組みにも触れることで、ダムの恩恵を受ける下流域に在住の自分たちが、上流のために何ができる



見晴展望台からはダム本体建設地の壮大な景色が一望できます



VRで見るダム完成後の風景



パネルを撮影する参加者



設楽町役場前で記念撮影

かを考えるきっかけともなったようです。最後は設楽町役場に移動し記念撮影。充実のツアーに満足な様子の二行はバスで帰途につきました。



おみやげに日本酒を選んだりスーパーマルツの店長から説明を受けたりする参加者

VOICE

田口には初めて来ましたが、まちのすぐそばにダムがある近さがスゴイなと思いました。展望台ではダムのスケール感が体感できて将来のダムの姿がリアルにイメージできました。



左から古田さん、佐久間さん、山本さん

山本恵巳さん(豊橋南部土地改良区) 9年前にも一度来たことがあるのですが、そのときに比べて、道路やダム本体の姿がイメージできるまで進んでいるのを見て感慨深かったです。山村都市交流拠点施設に親子で体験できるような場所があるといいなとも思いました。

佐久間伸恵さん(豊橋南部土地改良区) 横山光明さんに実際のご苦労をお聞きしたり、実際に建設中の現場を見たりして、設楽ダムや豊川用水事業について理解がより深まりました。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

古田沙織さん(田原市土地改良区) 田口には初めて来ましたが、まちのすぐそばにダムがある近さがスゴイなと思いました。展望台ではダムのスケール感が体感できて将来のダムの姿がリアルにイメージできました。

参加者の声

3 見晴展望台



パイロンアートワークショップと岩石ガチャ

設楽町内では現在、設楽ダム建設工事や関連する道路工事が様々な場所で行われています。それらの工事現場でよく見かけるカラーパイロンをアートにするワークショップを令和4年12月11日に開催しました。(主催:設楽町観光協会)

当日は、設楽町内外の子どもから大人まで約30名にご参加いただき、皆さま夢中になって楽しみながら、個性あふれる素敵な作品を作っていました。そして、完成したアートパイロンは令和4年12月17日の奥三河星空フェスタ2022の会場に展示し、多くの方にご覧いただきました。

また、星空フェスタでは、私たち設楽ダム工事事務所も岩石ガチャブースを出展し、ガチャガチャで出たトンネル掘削の岩石を通じて、付替道路の進捗を実感いただくとともに、地域の皆さまと交流することができました。

今後も、設楽ダム建設事業に親しみをもちいただけるような企画や、事業の進捗を皆さまに実感いただける企画を打ち出していきます。次の企画をお楽しみに!!



子どもも大人も全力制作!!



岩石ガチャに興味津々



完成したアートパイロン。どれも素敵です♪



星空フェスタの会場を彩るアートパイロン☆

設楽町の魅力再発見

新年明けましておめでとうございます!今年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、2022年が終わり2023年が始まりました。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。今回は新年最初の取材ということで、初詣に行ってきました。

訪れたのは田峰観音。田峰観音に着くとまずは手を清め、そして本殿へ。本年の設楽ダム工事が安全に行われることや、設楽町の魅力がたくさんの人に伝わり、広がっていきますようにと祈願しました。その後は初詣恒例のおみくじ。2人で引いた結果は吉と小吉。大吉を狙っていたので少し残念ではありましたが、「今年が素敵な年になりますように!!」と願いを込めて、おみくじ掛けに結んできました。

田峰観音の周辺には湧き水を汲むことができるスポットや田峯の特産物を買うことができる田峯特産物直売所、田峯を上から一望することのできるだみねテラスなど、参拝以外にも楽しめる場所がたくさんあります。さらに、2月には田峯田楽(国指定重要無形民俗文化財)や田峰観音奉納歌舞伎など様々なイベントが行われるとのこと。まだ訪れたことがない方は、是非一度訪れてみてはいかがでしょうか?



いざ、田峰観音へ!!



大吉こいこい!



田峯の湧き水。とても美味しかったです♪

今年が良い年でありますように



国土交通省中部地方整備局 設楽ダム工事事務所 <https://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/>

新城庁舎

〒441-1341 新城市杉山字大東57

総務課 TEL (0536)23-4331 FAX (0536)23-4401

用地第一課 TEL (0536)23-4387 FAX (0536)23-4408

用地第二課

設楽庁舎

〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字川原田1-2

工務課 TEL (0536)62-1290

調査課 TEL (0536)62-1292 FAX (0536)62-1291

工事課 TEL (0536)62-1293

